

社協の移動販売「いづかし号」だより

【訪問日】 毎週水曜日（原則、祝日もあり）

【販売時間・場所】

10:00 中持会館

10:25 白山会館

10:45 釜口漁港前



ご注文品を販売日（水曜日）にお持ちします。
前日のお昼までにお電話ください。

商品やご注文のお問い合わせは、
地域生活多機能拠点「いづかしの杜」
淡路市仁井 1478 TEL：80-2678 まで。

「ひきこもり」のことで、何かお困りごとはありませんか？

ひきこもりでお悩みの皆様へ 淡路市から「大切なお知らせ」

淡路市では、「ひきこもり」に関する相談窓口をご用意しています。

ひきこもりは、誰にでも起こりえます。悩みや苦しみを抱え込む前に「お悩み」や「気になっていること」など、どのようなことでも結構ですので、あなたのタイミングでお気軽にお聞かせください。

【対象】 淡路市在住のひきこもりについて相談したい本人や家族・支援を行っている人

【相談相手】 臨床心理士 鎌谷 安 さん

【日時】 毎月第3火曜日（年12回）
午後2時～5時 ひとり50分程度

【会場】 淡路市役所 本庁

【申込み】 事前予約（先着順）相談料無料

【問合せ先】 淡路市健康福祉部地域福祉課
「ひきこもり」支援担当
電話 64-2510 FAX 64-2564



ひまわり作業所からのお知らせ

日頃は、ひまわり作業所のクッキーをお買い上げいただき、ありがとうございます。

近年、クッキー原材料の価格の高騰が続いており、従来の販売価格を維持することが困難な状況になりました。

これまでの味・質を落とすことなく、みなさまのお手元にひまわり作業所のクッキーをお届けしたいということから、大変心苦しいですが、6月より価格の改定をさせていただくことになりました。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

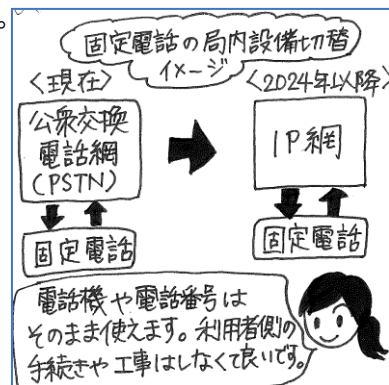
これからも、心を込めてみなさんに喜んでいただける商品を作っていきますので、よろしくお願いいたします。

各クッキー（旧価格）100円
（新価格）120円



『2024年固定電話がIP網へ移行』

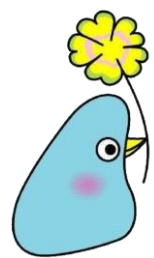
局内設備の切り替えです。（事業者内での設備切替）
NTTの固定電話を利用している方は電話機、電話番号はそのまま使用できます。移行手続きや自宅工事もしりません。



※悪質商法にご注意※「アナログ回線がなくなるため、光回線に切り替えるのに工事料が発生するが、今なら工事料無料。」「固定電話が使えなくなる、光回線にした方が良い」などと、嘘の情報で勧誘をしてくる業者がいます。

不審に思ったら淡路市消費生活センター
0799-64-0999 まで

すまいる



ひがしうら

編集・発行：淡路市社会福祉協議会



地域支援あいセンターひがしうら

淡路市久留麻 239-1 東浦事務所内

電話 0799-74-4877

FAX 0799-75-2025

Email higashiura@awaji-csw.or.jp

第127号

2022年 6月発行

「縁」があふれるまち（共生循環型地域社会づくり）をめざして

「社協会費」・「善意の預託」に本年度もご協力をお願いいたします

新型コロナウイルス感染症拡大予防に努める日々が続いているため、例年6月にご依頼させていただいている社協会費ならびに善意の預託のお願いを6月から8月末まで、期間を拡大させていただきます。
地域福祉推進のため、温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＜令和4年度・地域支援あいセンターひがしうらの事業方針＞

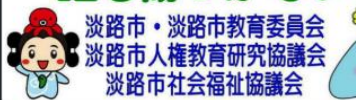
東浦地域では、今なお土地の開発や人の出入りが増えており、地域の様子や生活課題も変化しています。今ある活動を大切にしながらも、これまで以上に新たに人と人との出会い、つながり、混ざり合うことを意識した取り組みが必要であると考えています。

また、福祉委員のみなさんと連携を深めていくための取り組みや、各地域のwithコロナを意識した取り組み・工夫を伝え、みなさんとのコミュニケーションを大切にしながら、人が元気になる活動を共に進めていきます。

令和4年度の重点的取り組み

久留麻老人福祉センターでの居場所づくり	誰もが自分らしく暮らせるための居場所づくりとして、久留麻老人福祉センターを活用した取り組みを進めます。 （ロビーサロンの開催、ラジオ体操の会の継続、老福利用者の発表の場づくり、コミュニティボードの設置）
福祉委員活動の再点検とあんしんネット・合同研修会による見守りあい・気かけあい・支えあいの推進	福祉委員委嘱の意義を再確認するとともに、見守りあいや気かけあい、支えあいのまちづくりに向けた取り組みを進めます。 （福祉委員活動グッズ・ハンドブックの作成、連絡会の開催、あんしんネットワーク会議・合同研修会の開催）
「双方向」「循環」を意識したすまいるひがしうらの発行	一方向的な情報発信ではなく、「双方向」「循環」を意識した広報誌づくりを行います。 （読者の投稿コーナーの継続、町のお宝情報の収集・発信、オンラインも活用したモニター募集）
人と人との「出会い」「顔合わせ」の機会づくり	人や地域が変わってきている中で、まずは人と人が出会う機会・顔を合わせる機会づくりを進めます。 （公民館と協働した学びあいの場の開催、まちかどミニ講座、東浦ふれあいまつりの開催）

With コロナ
誰も傷つけない
誰も傷つかない



ありがとうございます

この広報誌は、皆さんからお寄せいただいた「赤い羽根共同募金」の配分金の一部を活用して発行しています。

☆この広報誌が不要となった場合は、資源ゴミの「その他の紙類」としてリサイクルにご協力をお願いします☆



『セタカフェ』始まります

「誰もが気軽に集まり、交流や情報交換ができる場が身近にあればいいのに!!」一人のそんな「思い」からスタートしました。

3月のあんしんネットワーク会議+合同研修会 60分会議のグループトークで日頃の「もやもや」を話し合っている中でも、やっぱりそんな「場」が必要だと感じたそうです。その思いを伝えると一緒にしようという仲間が数名集まり、早速4月に立ち上げの会を開くことになりました。いつ、どこで、どんな集まりの場にするのか。

何度も話し合いを重ね、津名地区で開催されているコミュニティカフェの見学にも参加しました。

「コロナ禍で、行事や集まる機会も少なくなっています。顔を合わせることによって、つながりが生まれ、ささいなことでもお互いに相談しあえる場になれば」「無理をせず、まずは自分たち自身が楽しいと思える場に」「長く続けていきたい」それぞれの意見を出し合い、イメージができてきました。

7月から、毎月1回第1木曜日に「集まりの場」を開催することになりました。その日が偶然7月7日の「セタ」であること、毎月1回ここでお会いしましょうという意味を込めて「セタカフェ」と名づけました。

お茶を飲みながら、ゆっくりとした時間を過ごしたり、おしゃべりを楽しんだりしませんか。事前のお申込みは不要で、10時から12時の間でお好きな時間にご参加ください。みなさまのご参加をお待ちしています。



と き 7月7日(木)
10時～12時

ところ 井植会館 (淡路市浦 1046)
参加費 100円 (飲み物代)



8月以降も、毎月第1木曜日にオープンします。どなたでもお気軽にご参加ください。



淡路市共同募金委員会からのお知らせ
赤い羽根募金百貨店



みんなの気持ちがぐ～るぐるプロジェクト

赤い羽根募金百貨店「みんなの気持ちがぐ～るぐるプロジェクト」は、募金付き商品を企画された参加店舗が、地域のためになる商品をアピールしながら、淡路市の福祉活動を応援する、地域支援につながる新しいカタチの募金です。4月1日から4月末まで、合わせて**8,216円**のご寄付をいただきました。お買い物いただいたみなさま、協力いただいた店舗のみなさま、ありがとうございました。

募金百貨店プロジェクト参加店舗

(株)檜岡石油様 (大谷) (有)大正あん様 (志筑)
麺屋 ZOE 様 (志筑) 一宮オイル(有)様 (多賀)
萩美容室様 (志筑) やき焼亭様 (志筑)
カットハウスロング様 (佐野)

きいてきいて!みなさまからの投稿コーナー

このコーナーでは、みなさまから寄せられた、誰かに伝えたい「感動したこと、うれしかったこと、最近思うこと」等を、紙面を通じてお伝えしていきます。

庭に野菜や花を植えています。プランターファームにも参加しています。ご近所の方が、「よく花がついていいね」「この芽を取ったらいいよ」と、色々教えてくれ、話をする機会にもなっています。周りの人が気にかけてくれていると思うとうれしいです。

コロナ禍で出かけることも少なくなりましたが、使わなくなった風呂敷や着物を使って、かばんや服を作っています。工夫をすれば楽しめることがたくさんあります。

(70歳代 飯屋地区)

あんしんネットワーク会議+合同研修会 60分会議開催報告 その②

先月号に引き続き、3月末に開催した60分会議の報告をさせていただきます。

意見の中で、「町内会運営が大変になってきた」「役員のなり手がいなくなってきた」などの声がありました。各地域にはいろんな役職があることに加え、生活様式の変化なども重なり、役のなり手や後継者がいないという声も各地で聞くことが多くなってきました。

表紙での「令和4年度の取り組み」にも書かせていただいた「福祉委員」もその1つです。各町内会からご推薦をいただいて、社会福祉協議会から委嘱させていただいています。

福祉委員制度が始まったのは、合併前・東浦町時代の平成8年度。地域のアンテナ役・パイプ役・福祉のお世話役ということで、福祉問題の発見や研修会・会議などの参加協力などが役割として挙げられています。

しかし、年月が経つにつれ、その役割などが曖昧になってきているところもありました。社協運営委員会では、福祉委員制度の意義を再確認し、今の時代に合ったものに変えていきたいと考えており、引き続き話し合いを重ねていきます。

朗読講座開講しました

令和4年度の朗読ボランティア講座が全6回シリーズでスタートしました。すでに朗読ボランティアとして活動中の方や、初めての方19名が参加しています。

デイジー淡路の代表を務める安岡秀美さんを講師としてお招きし、朗読ボランティアの話や、基礎的な読みの技術をこれから学んでいく予定です。



「無くて七癖」まずは、自分の読みの癖を知ることが大切であると、先生から教わりました。

「プランターファーム」今年も始まりました

今年も「プランターファーム見守りプロジェクト」が始まり、15グループ225名が参加されました。

これは、コロナ禍でこれまでのつながりを切らさないために、プランターで野菜を育てながらお互いに声をかけ合ったり、気にかけておうという趣旨で始まったものです。



あやめサロン (楠本中)



4月27日、楠本中会館でボランティアの方がたが協力して植込みの準備を行いました。手分けして、みなさんのお宅に

プランターをお届けしました。「昨年もたくさん収穫できて、お世話が楽しかった」と、素敵な笑顔をいただきました。



なかよしサロン (絵堂)

4月28日、絵堂会館に集まり、みんなで植込み作業を行いました。土を入れて重たくなったプランターを協力し合って持ち帰りました。



コスモスサロン (城原)



5月14日、城原会館で作業をしました。「昨年はピーマンだったので、今年はトマトがいい」「今日から自分のすることができてうれしい」「野菜のことでいろんな人と話ができた」等、うれしい声がたくさん届きました。